

環境局

一般会計要求総額

11,874百万円
(対前年度 12.6%)



<基本的な考え方>

「美しき世界の環境首都」を目指した取り組みを推進するため、平成21年度は「北九州市環境基本計画」に基づき、次の4つの考え方を柱として、環境首都づくりを推進していく。

- 1 地域から世界にひろがる北九州市民環境力の強化
- 2 地域からの地球温暖化対策の推進
- 3 循環型の生活様式・産業構造への転換
- 4 豊かな自然環境と快適な生活環境の確保

特に、政府から「環境モデル都市」の認定を受けたことから、低炭素社会づくりに向けた取組をより一層積極的に推進する。

地域から世界にひろがる 北九州市民環境力の強化	新エコポイントシステムの構築 新環境モデル都市環境教育推進事業 (めざせ！楽しく学ぶ環境学習)	10百万円(計画課) 16百万円(環境首都推進室)
地域からの地球温暖化 対策の推進	新環境モデル都市アクションプラン推進事業 新(仮称)紫川エコリバー整備事業 新(仮称)おひさまとかぜのまち100万kW プロジェクト推進事業(カーボンオフセット推進事業) 新(仮称)アジア低炭素化センター創設事業	15百万円(環境首都推進室) 120百万円(都市環境管理課) 10百万円(都市環境管理課) 3百万円(環境国際協力室)
循環型の生活様式・ 産業構造への転換	古紙リサイクル推進事業 新新北九州エコ・コンビナート推進事業	303百万円(計画課) 5百万円(環境産業政策室)
豊かな自然環境と 快適な生活環境の確保	新生物多様性きたきゅうしゅう戦略策定事業 (いきものいきいきプラン) 大気汚染常時監視システム整備事業	6百万円(都市環境管理課) 37百万円(環境保全課)

めざせ！楽しく学ぶ環境学習

新環境モデル都市環境教育推進事業

環境モデル都市の認定を受け、本市は、日本有数の環境教育の確立を目指している。小中学校においては、環境教育の更なる推進を図り、進んで環境に働きかける実践力をもった児童、生徒の育成を目指す。

16百万円(環境首都推進室)

環境モデル都市の推進

新環境モデル都市アクションプラン推進事業

産学官民が協働で、環境モデル都市アクションプランに基づく事業の推進のための取組を行う。

15百万円(環境首都推進室)

低炭素社会のシンボルづくり

新(仮称)紫川エコリバー整備事業

「環境モデル都市・北九州市」のシンボルとして、本市の玄関口である小倉都心部に、太陽光発電等の新エネルギーを導入することで、低炭素社会の姿を市民に示し、まちのにぎわいにもつなげることを目的とする。

120百万円(都市環境管理課)

生物の多様性の保全

新生物多様性きたきゅうしゅう戦略策定事業

平成20年6月、「生物多様性基本法」の制定をうけ、本市版の生物多様性地域戦略を策定し、生物の多様性の保全及び持続可能な利用に努める。

6百万円(都市環境管理課)